

## 山行報告 八ヶ岳南部 権現岳

【日時】2015.12.26(土)~27(日)

【形式】雪山登山

【参加者】CL 柘植(記録)、吉川、澤田淳

【記録】

12/26(土) 晴のち曇 天女山登山口 10:30→前三ツ頭 14:10→三ツ頭手前の幕場 15:20

今回の計画は天女山から入山して三ツ頭付近に幕営、翌日権現岳をピストンして同ルートを下山しようとするもの。2009年の年明けにも同じ計画で6人で行ったが、日曜が悪天で登頂ならずのリベンジ編。しかし天気予報は土曜はマズマズであるものの日曜の降水確率が高く、不安のなかの出発となった。途中双葉SAで八ヶ岳を眺めると、半分からは雲の中、おまけに見えている下部は全く雪がない。仕方ないので雪山フル装備に加えて各自水を2L背負うことになり、トレーニングとしては申し分ないが、シーズン初めの身にはきつい。標高1350mの天女山入口ゲート前にクルマを停めて出発する。天女山でこれから登るルートが見渡せる。雪がありそうなら水を捨てようかと思うが、見た感じ無理。



天女山から見た三ツ頭方面



下界の天気はよい(少し雪登場)

1800mを過ぎるとようやく傾斜も出てきて高度を稼げるが、相変わらず雪は少なく、アイゼンなど無用の長物。このあたりで下山する3パーティーくらいに出会うが、みな軽装の日帰り。前夜天女山の登山口で仮眠し、軽装で日帰りが現在の標準パターンらしい。ただみな三ツ頭で引き返してきたといい、上部は視界が効かないうえかなりの強風らしい。2350mの前三ツ頭まで来ると今日の目標の三ツ頭が目前にせまる。



前三ツ頭から三ツ頭を望む



三ツ頭手前の樹林帯のなか

ようやく足元は雪になり雪山らしくなる。このあたりで出会った2パーティーはともに屈強な感じの二人組で、悪天を押して権現岳に登ってきたとのこと。澤田さんに明日の山岳天気予報をチェックしてもらおうと今晚から明け方にかけて雪になり、明日も午前中は曇りとのこと、かなりモチベーションが下がる。三ツ頭までの最後の標高差 200m は幕場を探しながらの登行。エスペースを張れる広さのスペースが見つからず、ついに森林限界付近にまで来てしまう。仕方ないので限界下の雪の登山道に強引にテントを張る。明日アタックの場合はテントどうしようかと話すが、とにかく今日はここに張るしかない。苦勞して水を持ち上げているので、水作りの作業が省け、すぐに楽しい団らのひと時。本来はご飯だけ炊いておかずは各自の柘植標準パターンのメニューだったが、澤田さんが勘違いして鍋の具材を持ち上げてくれたので、充実した献立で楽しい夜を過ごせた。疲れていたもので 19 時前には寝てしまったが、夜中に目を覚ますと強風とテントをたたく雪の音がする。明日はダメかな……

12/27(日) 曇りのち晴れ 幕場 8:50→前三ツ頭 9:20→天女山登山口 11:30

みんな諦めているせいか、目が覚めて起きようかとなったのは 6:20。トイレついでに森林限界の上に行ってみるが深いガスのなかで行く気がせず、あっさり撤退を決める。お茶でのんびり過ごして9時前に撤収して幕場を後にする。前三ツ頭付近に来るとようやく雲の下に出て展望が広がるが、南アルプスの鳳凰～甲斐駒はやはり半分から上が雲のなかで、こちらと同じ感じらしい。



前三ツ頭手前付近（昨日比でだいぶ雪が増えた）



前三ツ頭でようやく雲の下へ

天女山まで降りてくると青空が広がりはじめ、権現岳の山頂もしっかり見えてまさに昨日の山岳天気予報とおりであった。山の木々も霧氷をまとってとてもきれいだ。途中でこれから権現岳に向かういくつかのパーティーに出会う。今日入山するパーティーはうらやましいなと思うが、雪山フル装備に水まで背負って初日に標高差 1200mを登れたのはみんな自信になったらしい。雪山はこれからが本番、今シーズンもまた行くゾ！と誓い合った3人でした。

柘植記